

新春対談企画 「卯年にジャンプ!!」

豊明高イラストレーション部 (昨夏「まんが甲子園」日本一)

いしはらみさとこと語る



出場メンバー

るのは大変だったと思いますが：全員…ありがとうございます。

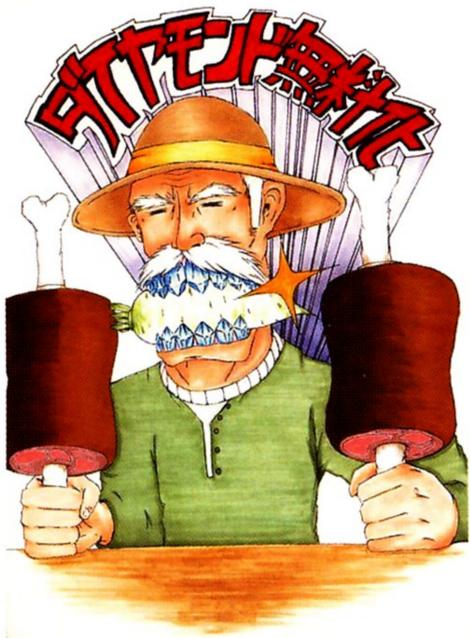
内藤由香里さん(3年、以下、内藤)…

全国280校の中から、予選を勝ち抜いた30校が本選に集まりました。本校は8度目の出場だったのですが、どこも上手な学校ばかりで、決勝進出20校に残れたのも、ましてや優勝できるなんて思ってもいませんでした。勝因は「お互いの良さを認めたこと」だと思います。

◎アイデアとチームワークで

全国制覇

いしはらさん(以下、いしはら)…去年8月、高知市で開催された「まんが甲子園(第19回全国高校漫画選手権大会)\*」に愛知県下の高等学校で初の日本一、本当におめでとございます。とても大きな自信がつかれたことと思います。このニュースを聞いて、年は離れていますが漫画にかかわる者として、とてもうれしかったです。代表メンバー5人がチームワークを発揮して、与えられたテーマに沿った作品(B2サイズ)を制限時間内(5時間半)に仕上げ



予選作品

何を無料にするかで、他校との違いは豊明高の独創性を表現しなければいけません。メンバー5人はそれぞれ得意ネタがあるので、テーマ別に誰がアイデアを出すかを決めていました。そこで地球上で一番硬いダイヤモンドを入れ歯を作ったら、大根や肉を思いつきり食べられるというものを作品にしました。

いしはら…決勝のテーマは「あしたの○○」。みなさんが描き上げたのが、母親の機嫌が時間帯によって変わる「あしたの機嫌予報」でした。大会審査委員長のやなせたかし先生も「絵に温かみがある」と高い評価。実は、やなせさん、私が40年以上前にまんがを投稿するきっかけになった雑誌の選者だったのですよ。(全員…へえー!) この内藤さんのアイデアは面白い。

内藤…審査員の人たちは各チームの制作現場を巡回されるんですが、やなせさんは、このネタについて「甘いつ、甘いつ!」とダメ出しをされました。

出口明奈さん(3年、以下、出口)…

決勝の審査結果が発表されるまで、予定より30分以上超過しました。でも私たちの作品の審査で長引いているとは思いませんでした。

いしはら…やなせ先生は選者として、とても厳しい人です。当時投稿を重



決勝作品

ね、選ばれて雑誌に掲載されても、「マンネリだね。デッサンからやり直したら…」なんてコメントに悔しい思いをしました。でも1年間の総評に「いしはらは頑張っている」とあり、すごく嬉しかったです。だから、みなさんのうれしい気持ちがとてもよくわかります。ちなみに先生は91歳ですが、毎日6時間以上アパンマンなどのまんがを描いていらっしゃるそうです。夢はズバリ「長生き」だそうで、凄まじいエネルギーを感じます!

◎観る力を磨いて今年も高知へ、新しい世界へ

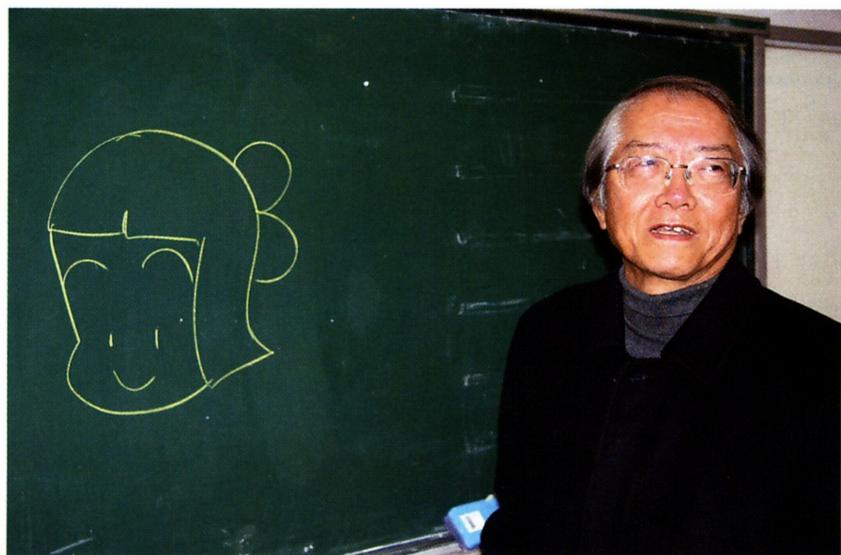
出口…いしはらさんは、どんなときにアイデアが浮かびますか?

# だりや

419回

## ちゃん

いしはら いずみ



いしはらいずみさん (だりやちゃんを黒板に)

いしはら..よく浮かぶのは布団の中で目が覚めた時で、枕元に置いてあるメモにすぐ描きとめます。あとソファで寛いでいる時も。やつぱり脳がリラックスした状態がいいみた

いしはら..君はまさに「高校ペン児」だね!ぜひ読んでみたい。漫画家として生きていくのは、大変なことです。あえて言えば、才能と運、そして関わる人との出会いだと思いますので、どうぞ夢に向かってまっしぐらに進んでほしいです。今年卯年、ここに5人の合作イラ

いです。ただ、時間をかければいいというもんじゃありません。田中..本気で漫画家を目指そうとしたのはいつ頃ですか? いしはら..ということは、田中さんは漫画家になろうと?じゃあ投稿している? 田中..はい、目指しています。初めて投稿しようと思って、今、高校野球をテーマにした読み切り作品を描いています。いしはら..



5人の合作イラスト

ストがありますが、それぞれ個性あふれるウサギが描かれていて、新年のワクワク感が伝わってきます。私は今年の「だりやちゃんカレンダー」に、豊明市大脇神明社の「梯

子獅子」を描きました。皆さんとの対談が決まる前に完成させましたので、お会いするのにご縁を感じました。さて、在校生は8月に優勝旗を返還しなければいけませんね。田中..本選出場校として行き、また持ち帰りたいです。いしはら..卒業される方には、描き続けることをお勧めします。まんがは知的な自己表現です。心の中に湧き上がってくることを探し回って描いてみる。地面に木の枝で描いてもいいのですから...これは上手い下手ではなく人間に与えられた才能です。これからも楽しく生きて行くための材料として、まんがと向き合ってほしいですね。今日はありがとうございました。全員..ありがとうございます。対談当日、野村真那さんと丹羽益美さんは欠席されました。

**\*まんが甲子園**...高知県は、やなせたかし、黒鉄ヒロシ、西原理恵子他、多くの著名な漫画家を輩出していることから、「漫画を文化資源として全国に発信しよう!」と同県などが主催して、平成4年に始まった高校漫画界の一大イベントである。主催者側の各出版社はスカウトを派遣し才能ある高校生の発掘しており、本選出場はプロへの「登竜門」としてのチャンスがある。